Creative Enzymes®

ネイティブラットグルタチオン-S-トランスフェラーゼ

Cat. No. NATE-0327

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グルタチオン S-トランスフェラーゼ (GST) は、以前はリガンディンとして知られていた、真核生物および原核生物の第 II 相代謝アイソザイムのファミリーであり、解毒の目的で還元型グルタチオン (GSH) を外因性基質に結合させる能力で最もよく知られています。GSTファミリーは、細胞質、ミトコンドリア、およびミクロソーム—MAPEGとも呼ばれる—タンパク質の3つのスーパーファミリーで構成されています。GSTスーパーファミリーのメンバーはアミノ酸配列において非常に多□であり、公共データベースに登□されている配列の大部分は機能が不明です。酵素機能イニシアチブ (EFI) は、新しいGST機能を特定するためのモデルスーパーファミリーとしてGSTを使用しています。
別名	グルタチオンS-トランスフェラーゼ; GSTs; GST; グルタチオンS-アルケン転移酵素; グルタチオンS-アルキル転移酵素; グルタチオンS-アラルキル転移酵素; グルタチオンS-アリル転移酵素; グルタチオンS-エポキシ転移酵素; RX:グルタチオンR-トランスフェラーゼ; EC 2.5.1.18; 50812-37-8

製品情報

種	ラット
由来	ラット肝臓
形態	凍結乾燥された
EC番号	EC 2.5.1.18
CAS登□番号	50812-37-8
純度	淨化された
活性	> 10 U/mg
混入物	ALP, gGT, GPT/ALT, GOT/AST, SDH:
代謝□路	□物代謝-シトクロムP450、特定生物系; □物代謝-シトクロムP450、保存された生物系; グルタチオン代謝、特定生物系; グルタチオン代謝、特定生物系; グルタチオン代謝、保存された生物系; シトクロムP450による外因性物質の代謝、特定生物系; シトクロムP450による外因性物質の代謝、保存された生物系
機能	□物結合; グルタチオン結合; グルタチオントランスフェラーゼ活性; グルタチオントランスフェラーゼ活性; トランスフェラーゼ活性
単位定義	1ユニットは、37°CおよびpH 6.5で、1クロロ-2,4-ジニトロベンゼンに□して1分あたり1マイクロモルのグルタチオンの移転を触媒します。

保管・発送情報

保存方法	-20°C